

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市 まびの道
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市中島 2 7 1 4 番地 1 名称 社会福祉法人 あけぼの福祉会 代表者 理事長 重利 陽子
(3) 公の施設の所管部署	社会福祉部 障がい福祉課
(4) 評価対象期間	令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 3 1 日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	今年度は、「避難訓練の実施状況及び避難マニュアルの整備状況」を重視して評価した。 事故・災害発生時の危機管理マニュアルを作成し、避難訓練も定期的の実施している。また、被災時の経験を活かし、本人や家族等の関係者と密に連絡がとれる体制の構築に努めている点は評価できる。	総合評価
		A
(2) 指定管理者の自己評価	障がい者の就労、工賃向上に国も制度も向かっている中、倉敷市まびの道でも工賃向上に向けて取り組んだ一年でありました。 作業効率と、集中できる時間のバランスを取り、めりはりのある作業提供時間を調整したことの結果、個々の工賃アップにつながりました。 14年継続してきた、施設外就労先の倉敷きのこ園では、工場の拡大、作業量の増加に伴い、就労継続B型まびの道の福祉的就労では対応できないと考えましたが“きのこ園に行きたい”といったメンバーさんの声により踏ん張り、時給アップに繋がりました。 物価高騰により材料費がかさむ中、自主生産品を野菜苗に比重を増やし、短期間での栽培、出荷、売り上げに繋がるようコスト削減に取り組み始めました。 “働く”だけでなく、岡山県知的協会開催のゆうあい文化祭、岡山けんかれん主催の、きばらしふえすていばる（最優秀賞）	

	<p>を通じ、大きな舞台を体験する中で団結力等が養え、新たな一面の発見や、生活のモチベーションアップにもつながったと思います。</p> <p>R5年度より事業継続の策定が義務化となりましたが、水害の体験をいかした、より現実的なBCPとなるように、施設全体、メンバー、地域を含め改善に努めています。</p> <p>メンバーさんの一人一人が持てる力を発揮できる作業や機会を提供することを念頭に、希望を持てる施設運営でありたいと思います。</p>
(3) アンケート結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営及び支援内容については、概ね満足している。全体の満足度は89.9%であった。 ・アンケートの結果については別紙のとおり。

3 施設の利用状況

(1) 利用実績	【利用者数（人）】			
		今年度	前年度	特記事項
	開所日数	260	259	前年度比 100.4%
	延利用者数	5,362	5,005	前年度比 107.1%
	1日平均	20.6	19.3	前年度比 106.7%
(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農園芸作業 ・アダプト事業（岡山県） ・倉敷市花苗請負事業 ・施設外就労(倉敷きのこ園(週4回)、倉敷リハビリテーション病院、倉敷記念病院、玉島市民交流センター、松田病院、特別養護老人ホームみずき会、ぶどうのたね保育園、水玉車輛) ・委託加工作業(ペガサスキャンドル（ろうそく組み立て）) ・柏木（自動車関係等） ・トルク（ねじ封入作業） ・自主生産(野菜、花苗、鉢植え) ・イベント参加（真備総踊り、緑化フェア、KIZUNA フェスタ、ますみ荘パントリー、箭田文化祭、ゆうあい福祉展、玉島池畝会館ふれあい文化祭等） ・ステージ発表（ゆうあい文化祭参加、岡山けんかれん参加） ・各種研修の実施 ・人権推進交流会 ・ひまわり号、箭田駅前花壇植え込み 			

	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション（季節行事、バス旅行） ・その他（調理実習）
--	--

4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	48,013千円
	市からの指定管理料（委託料）	48,012千円
	その他の収入	1千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	45,354千円
	主な支出	
	人件費	35,540千円
	修繕費	1,064千円
	光熱水費	586千円
	施設管理委託費	365千円
	賃借料	579千円
	消耗品費	184千円
通信運搬費	276千円	
給食費	480千円	